

多古町まちづくり 志民活動を募集

『志ある民』を
応援します！



町民が主体となり、暮らしの改善や生きがいと充実感をもって生活できる地域社会を実現するために、まちづくりに志を抱く方々『志民』が自ら企画し活動するための費用に対し助成を行っています。

この制度を活用して、あなたもまちづくりに参加してみませんか。

【申請期間】4月1日(水)～10日(金)

【申請方法】町ホームページをご覧になるか都市計画課までお問い合わせください。

【制度の概要】

申請および決定

- ①志民団体から新規事業の提案を受け付けます
- ②第三者組織による審査選考を行います
- ③採択された団体には補助金を交付します

補助率および上限額

- 単独事業…事業経費の90%(上限50万円)
- 複数団体連携事業…事業経費の80%(上限60万円)
- イベント…事業経費の50%(上限50万円)
- ※経費からは入場料等の収入額を差し引きます。

※予算の範囲内での採択となります。

お問合せ●都市計画課都市計画係 ☎ 76-5408

20歳になったら国民年金

- 20歳以上60歳未満の学生・農林漁業者・自営業者・無職の方などは、国民年金に加入することが義務づけられています。
- 20歳になった方には、日本年金機構から、「国民年金加入のお知らせ」や納付書等により、国民年金に加入したことをお知らせします。
- 公的年金制度は、老後や障害を負ったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。
- 若いときに公的年金制度に加入して、保険料を納め続けることで、老後や病気・ケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができます。
- 原則として、保険料を納めなければ年金を受け取ることができません。しかし、所得が低く保険料を納めることが困難な方のために保険料免除制度があります。

【学生納付特例制度】

学生の方が申請により保険料の納付が猶予される制度です。大学(大学院)、短期大学、専門学校、高等学校、高等専門学校、高等専修学校に在籍する学生で、制度を受けようとする年度の所得が基準以下である等の理由がある方が対象です。
※申請には学生証のコピー(表裏)または在学証明書(原本)が必要です。

【追納制度】

保険料の免除、納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)の受取額が少なくなります。これらの期間の保険料については10年以内であればさかのぼって納めることができ、将来受け取る年金を増額することができます。

【免除・納付猶予制度】

失業や所得の少ない等の理由で保険料の納付が困難な場合、「国民年金保険料免除・納付猶予申請書」の提出により承認されると、保険料の納付が免除または猶予されます。
※免除には全額免除と一部免除があり、一部免除に該当した場合は残りを納めていただく必要があります。

※詳しくは下記へお問い合わせください。

お問合せ●

ねんきん加入者ダイヤル ☎ 0570-003-004
佐原年金事務所 ☎ 0478-54-1442
住民課国保年金係 ☎ 76-5405

観光シンポジウム多古2019 - 12月20日 - ～国際観光時代における多古の観光を考える～



観光振興は、さまざまな産業の活性化や地域づくり、ふるさと意識の醸成、交流人口・関係人口の拡大など視野が広く波及効果の大きいものです。**観光は町の活性化の切り札**ともいえることから、幅広い年代の町民の皆さんが参加し、観光によるまちづくりシンポジウムが開催されました。

第1部では、多古町総合振興審議会 大下 茂 会長より「これまでの観光・これからの観光」について講演をいただき、第2部のパネルディスカッションでは代表のパネリストの皆さんから今後の多古町の観光について意見が語られました。



佐藤 正史さん
(農民生産者)



山崎 勝矢さん
(商工会青年部)

ご意見いただいた
各分野のパネリスト
の皆さん



秋元 譲さん
(情報系・Uターン)



高安 一弘さん
(福祉分野)



野平 敏江さん
(NPO 法人メンバー)



多古町総合振興審議会
大下 茂 会長
(講演・パネルディスカッション
コメンテーター)



多古町に今後求められる観光の姿を表すキャッチフレーズとして、「**「**顔(まぶた)の裏の多古町**」**を発表している様子。

秋元さんは「**「**顔を閉じればそこに、心癒される風景や、人とのつながりが思い浮かぶような町こそが今後の多古町の姿として良いのでは**」**と発表。

今回の観光シンポジウム多古2019では、地域の真の**「**光**」**を観ることが**「**観光**」**であり、これからの多古町の観光を発展させる**「**光**」**について講演をいただきました。パネルディスカッションでは、**「**人と環境**」**が多古町の強みである意見をはじめとした多くの意見が皆さんと共有されました。

「多古高と地域がもっと密につながることや、就職先として多くなっている成田空港ともつながれたら」



多古高3年の篠塚さん